

ビニール床シート（C F） 貼り 施工要領書

施工方法（下地）

- ① 下地コンクリートは、湿気が多いと接着不良や膨れを生じる場合があるため、充分乾燥させて下さい。
- ② 下地は不陸、目違い、接合部における突起や凹凸がないかチェックをして下さい。点検の結果、著しい不都合がある場合は、協議のうえ下地調整材などで調整して下さい。
- ③ 下地には接着を妨げるような塵埃、モルタル滓、油脂類、錆などの付着は除去してから施工して下さい。
- ④ 耐水工法では、反応タイプで耐水性のあるエポキシ系又はウレタン系を選定して下さい。

施工手順

- ① 下地の掃除を入念にする。
- ② 巻きぐせを取る為仮敷きをする。
- ③ 材料を割付通り荒切りする。
- ④ リバース施工とは、床シートの色ムラなどを目立ちにくくする為にシートの天地方向を交互に貼り継ぐ施工方法です。
荒切りの際、天地を交互に入れ替えジョイント部が自然につながる様にチェックして下さい。
- ⑤ 部屋の一方より長さを切り込み裁断する。
- ⑥ 切り込み裁断後、切り込み通りに材料を納め、壁側（巾木）に隙間のない事を確認する。
- ⑦ 材料の位置決め終了後、壁側（巾木）の反対側材料に沿って、チョークで墨打ちする。
- ⑧ 材料の片側（左右どちらでも可）より、約半分まくりひろげる。
- ⑨ まきひろげた部分、再度下地の掃除を行う。

- ⑩ くし目ごてを用いて適量を均一に塗布し、ラベルに表示した所定のオープンタイムを取る。
- ⑪ オープンタイムの取り過ぎは接着不良の原因となる為、又溶剤型の場合にオープンタイムが短いとフクレの原因となる為施工時の気温を考慮の上、1回の塗布面積、塗布後のオープンタイムに特に注意する。
- ⑫ 貼り付け後、ローラーにて充分圧着し接着面に空気が残らない様にする。
- ⑬ 継ぎ目の切断時に継ぎ目に隙間を作らない様に充分注意する。
- ⑭ 柄合わせが必要な物は、各々のレピートが決まっているので、カット位置に注意して、割付をする事が大切である。最も基本的な事は、床シートの長手方向中央部で柄を合わせる事が大切である。

継ぎ目の接合

シーム処理

- ①シーム液にて、接着剤が完全に硬化してから、先端のノズルフィンをシートの継ぎ目に差し込んで手元に引きながら液を押し出して均一に注入する。
- ②処理剤が完全に硬化するまで通行は禁止とする。

施工後の注意

- ①色違いや模様の貼り違いがないかをチェックして下さい。
- ②目地違い、あるいは隙間の有無をチェックして下さい。
- ③ジョイント部分がよくかみ合っているか、盛り上がっていないかをチェックして下さい。
- ④突起物、空気だまりによるふくれはないかチェックして下さい。
- ⑤重い家具什器等を移動する場合はベニア板をシートの上に敷いて下さい。施工からまもない場合は特に注意して下さい。